

# 窯業

窯業訓

努力  
責任  
元気

## 目標

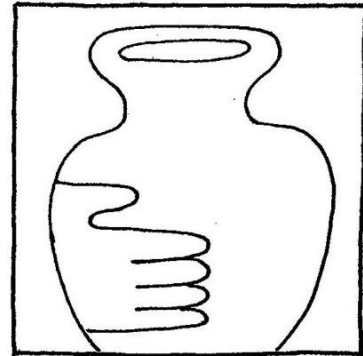
- 1 粘土を材料とする製品の加工、保存等の基本的な知識と技能を身に付け、真面目にコツコツと作業する。
- 2 自分の仕事に責任をもち、協力して窯業製品を製作する。
- 3 元気な声で挨拶、返事、報告する。

## 【指導する上で大切にしていること】

- 単純な工程に取り組み続け、根気や気力を養う。
- 後工程があることにより、協力する気持ちや自分の仕事に責任をもてるようにする。
- 定期的な報告を繰り返すことで、態度や姿勢、挨拶にも気を配る実践をする。
- 分業制にすることで、専門性を高められるようにする。
- 作業場を整理整頓し、環境を整えられるようにする。

## 【製品作りで心がけていること】

- 最後まで粘り強く取り組む。
- 規格と同じ製品を丁寧に作る。
- 仲間と協力して良品を作る。
- 出来高を意識し、作業効率を考える。



## 【学習内容】

1年生	2年生	3年生
<p>窯業の基本作業を覚えるために工程の始めから最後まで一人で一つの製品を作る。精度の高い製品ができあがるまで何度でもやり直して製作することで、良品ができるまで粘り強く作り続ける力を養う。窯業の基本的な技術を養う。</p>	<p>一つの製品の作業内容を工程別に分業し、一人一人が担当をもって製品作りを進めている。粘土の状態から焼き上げて完成までのさまざまな工程を理解し、見通しをもって効率よく取り組む意識を高める。</p>	<p>一つの製品の作業内容を工程別に分業し、一人一人が担当をもって製品作りを進めている。出来高を意識し、量産への意識を高める。技術や知識を養い、より良質な製品作りを行う。</p>
		
1年生製品：銘々皿、花瓶	2年生製品：マグカップ	3年生製品：ひな人形

